

私は愛を求めてきました。心が満たされなかつたのです。どんなに求めても求めても私の心は満たされませんでした。みんなみんな裏切る、最後は私の前から消えていく、もうそんなこと二度とごめんだと心を開くことができませんでした。寂しかった。寂しいけど寂しいって言えませんでした。そんなはずはない、私が寂しいはずがない、私は一生懸命その心を隠しました。一生懸命心を逸らすことだけをしてきました。絶対認めたくない想いでした。私は寂しくはない、私はその想いを認めることができませんでした。寂しい心を受け止めてあげることをしてきました。寂しい心を押さえつけて、愛をそして力を求めてきました。愛は求めて得られるものだと思ってきました。愛が流れているのを遮っていたのは私でした。